

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	町田市南成瀬4-10-4
園名	成瀬なかよし保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と色

<テーマの設定理由>

園庭で遊ぶ中で、保育者の影を追いかけたり、太陽の光で影ができることに気づいたりする姿が見られた。室内でも光の反射に手を伸ばして楽しむ様子があった。日頃から光や影、色の違いに関心をもつ姿が見られることから、その興味をさらに広げていきたいと考え、テーマを「光と色」に設定した。

2. 活動スケジュール

4・5月	光と影に出会う	11月	色眼鏡を作って探検
6月	ライトテーブルと懐中電灯	12月	クリスマスツリー作り
7月	寒天遊び	1月	ウォーターマット、センサリーバック
8月	色付き氷	2月	アクアリウム
9月	蛍光塗料で遊ぼう	3月	蛍光塗料で遊ぼう
10月	色水をライトで照らしてみよう		

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ライトテーブル、懐中電灯、ブラックライト
- ・蛍光塗料、指絵具や水彩絵の具など数種類の絵具、筆など
- ・クレヨン、模造紙、画用紙、容器などの材料
- ・カラーセロファンやボンド、のり、寒天、春雨などの材料

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

活動テーマ「光と色」のもと、こどもたちの気づきを出発点に探究活動を行う。ライトテーブルや色付き氷、蛍光塗料などの素材を用い、光に照らされたときの色の変化や反射の様子を体験する。こどもたちは自ら素材に関わり、光の当て方や見る角度を試しながら変化を楽しむ。気づいたことをともだちに伝えようとする中で、さらに試そうとする姿も生まれていた。主体的に関わりながら、光や色の不思議さに目を向け、探究しようとする姿を育み、遊びを広げていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

絵具が苦手な子も、様々な道具に興味を示し自分で持って模造紙に描く姿が見られた。色が付いたことを喜び、「きれい」と保育者に伝えようとする。描きながら色の名称を言葉にして、ともだちと関わりながら楽しんでいた。蛍光塗料が乾き、ブラックライトで照らしたとき、こどもたちは嬉しそうに声をあげていた。ライトを当てたり、ずらしたりして光の反射の違いを見比べては保育者やともだちに「見てみて」と声をかけていた。色が付いているところが光ことが不思議なようで、何度も試していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

絵具遊びでは道具を4種類用意したことで、様々な色に興味を持ち、自由に描くことや色が付くことを楽しめていた。手や足にも色を付けるなど、広いスペースで存分に絵具遊びができるように配慮した。またライトも複数用意したことにより、蛍光塗料がどのように光るか、ライトを使用したときとの変化を主体的に探究することができた。